

# 備陽史探訪

No 25

発行  
備陽史探訪の会

事務局

〒720  
福山市西原1-7  
7-2-7  
神谷和孝

## ▽目次△

- 座談会 『戦前の福山』 (P1)
- 福山の建物三千年史 (P6)
- 遊行案内 『奈良は良いと二一度は歩いて』 (P8)
- 新聞ダイジェスト (3月24日) (P9)
- 城郭研究会情報 (P12)
- 寄稿 『古墳研究会の知見会』 (P13)
- 古墳研究会情報 (P14)
- 9月会報原稿募集 (P15)
- 行事予定・編集後記 (P16)

## 座談会 『戦前の福山』

会報編集部では、今回初めての試みとして、会員による座談会を企画してみました。参加者は次の通りです。

- \* 加藤 恕 さん
- \* 坂本 彰 さん
- \* 宮原 正 さん
- \* 桑原 完二 さん
- \* 土井 ヤス子 さん
- \* 平山 虎吉 さん
- 編集部 榎本、吉田、テール、番、山口

編集部(以下)と略す。

今日はお忙しいところ、が、金曜日にいただきました。ありがとうございます。戦前の福山について語っていただくといいこと

なんですか、戦々の方がご三三のテーマを甲斐してききましたので、まずそれについて教えていただきたいと思います。私らの世代はもう焼けて石垣のみになった天守閣しか知らないうので、今日集まらした皆さんはおそらく昔の天守閣に登られたことがありと思います。そこで現在の西遊さん天守との違いなどについて語っていただきたいと思います。中はどうなっていましたか。

A. 中はね、がらんどうでした。そして階段がね、非常に急なんです。ちょうど備中高梁城の階段のような感じですかね。

B. そう、つい分急でしたな。それと長州が攻めてきた時の大砲の弾の跡が西側でしたか窓のくすの所に残っていました。まあ昔の大砲ですから少しへこんでる位でしたか。

C. 昔の大砲の跡は言ってみれば砲丸投げのようですね。もうありませんか。

D. そのことについて私の知っていることですが、内々の会員のTさんがその砲弾のカケラを持ってもらいました。私見せしてもらったんですが、イモノでして、ラセン状のミゾがついていました。

E. あれは色々言われますけれど、どこから打ったんでしょうか。

027 06-1050(64X44)

F. あれは本庄の寺からです。ハ幡さんの横ですが、まあやっ」といいたという感じでしような。

①. ミーとこの昔の福山城の位置を見ますと北側がみな黒く見えるんですが、あれは鉄板でもはってあったんですか。

A. そう鉄板です。あれはね城の北側に森があるでしょう。あの方面が一番敵が攻め易いというところと幕末のころには、たんです。

D. そんなね私も小供のころよく園かされたんだが要するに福山城は卑怯な城だということとでせう。あれは評判がよろしくなかつたようですよ。あれだけきれいな城なのに鉄板なんかは、非常になさけないと、それこそ名城とは言われなかつた。

C. そのことと関係があるのかなあ。焼着屋敷の後に福山城が焼売にかけられたことがあったんです。その当時の金で5円でした。がら円でも買ひ手がなかつたという事があります。

①. 天守閣以外で今と変わらなところはどこでしょう。

A. 前の広場が一面を植えておりました。そこへ大きな松がすうー」とはえと、たんとすわ。

F. そりゃあ大きな二つ三つもある立派なものですね。それが枯れたら戦時でやられたりしてね。

①. 桜はどうでした。

A. 桜もね戦前の方がよくて。昔は三月の節句には「お弁当おき」というんでお弁当

へ行きました。私も小供の時分にはそれが楽しみでね。昔は「ノブロ」というのがあって銅でできてお火を敵すところがついておりましたね。酒のカンなんかやったりするんですが、皆さういうものを持ってお弁当おきに持って

B. 私残念に思ってますのは、昔は「黄金水」とよばれるいい水を出す井戸が城内にあつたんですが、戦後後ピタッと水が出なくなりましたね。今でもその屋根と井戸側は残っています。天守の西にあたりますね。

C. あと福山城には抜け穴があつたという話もあります。本庄でしようかな。

F. あれはね、天守閣の地下から三蔵稲荷に通じていたとて。私も入ったことはないんですけど近寄りからとらう聞いています。

①. ミーと伏見櫓などについて何かありますか。現在あそこは鏡がかかっていますけど昔もやっぱり入れなかつたんでしょうか。

A. 伏見櫓はあの頃は「とんど」の山車を切った年までしまつておく。庫りんかた使われなかったようですよ。

B. 我々中学生的の頃はあの中をよく遊んでいましたよ。

①. ミー、じゃあ番人もいなかつたんですか。いなかつた。自由に入つてよかつた。

①. 天主閣なんかも自由ですか？

A. あれは金を取りよつたでしょう。

C. そうですね。銭たかたかかくれ、てたはするね。

B・うーん、とうすると線々は看板人の眼を溜  
んで勝手に入ったのかもしいんあ。と殺  
々あやしくなる。まあ小さい頃は悪かったか  
らなあ。(笑)

A・それはね、当時は今のようには古いものを大  
叩たしようというふうな気があまうりなかつ  
たんですよ。時代も瀬州事変の直前という  
こともありましたしね。  
B・いや、あまりなかったな。でもんじゅ、なく  
て全然なかった。(キッパリ)

① 市街地のうっぴりかわりー

・そこでは次に福山城かりわりの市街地の様  
子について話してもういたいんですが...

B・昔と今と全く違うのは水路だと思っうんが  
が、お堀には舟は入ってきと、たごしようか。  
A・入ってりました。今の入江からすーと町  
中へ入って来て、麻生の時計屋のあたりは天  
下橋というのがかかっつりまして、そこから  
水路が狭くなるんです。そして現在の藤本ビ  
ル当時は日米館というんですが、そのとなり  
に舟溜りがありました。そこまでダンペイ舟  
が通ってました。

② ・ダンペイ舟というのは何ですか。

C・ダンペイ舟は幅が広くて浅い舟で、石炭を  
つんどつたんです。ちょうど今の駅前の子葉銀  
行のあたりが、紡績のエンジンルームとして  
そこまご石炭を運んどつたんですわ  
D・あそこは大きいボイラーがあつたね。湯を  
わかして蒸気でお城を動かしたんですわ。

E・さっきの日米館のとなりの舟溜りのところ  
へその湯が出よつたんです。昔はみなそ  
こへ洗濯に行つてました。

B・あの水路は掘つたんでしようかな。それと  
も川があつたんでしようか。  
A・まあたぶんもともとも川がそこを流れていら  
たものな若干手を加えてこつたことの様ですが  
どうも今ひとつその辺は文獻的に明らかにな  
つてないようです。お城から北側はわかるん  
です。本庄の迎りからいんどん池にかけて昔  
田川が分れて入つてたというのな。

F 昔田川が分れて入つてたというのには確か  
ごすな。というのには私らの小供時分まで本庄  
迎りでは川も何もなつたところには土手だけが  
まだ残つたりしましたからな。

A・水の話が出たので一寸きつときたいんです  
が、皆さんご承知の様には福山には全くと東京  
と長崎とここにしかなかつた。蒸留しない水  
道というのがあります。これは水野時代  
に出来まして、本管で池と民家を直につない  
であるんですが、これがまだ私らの小供の頃  
は使われてました。  
C・あはは面白いんだ。池と直につなごつて  
から民家の井戸をのぞくとツナが泳いでたり  
してな。

B・それはいつ頃なくなつたんですか。

A・熊野の水源地から水をひきだしてからだか  
ら、大正末期ですわ。  
③ ・あと市街地の様子もお聞きしたいんですが、  
天満屋なんかはいつごろ...

C・あれは戦後ですがな。  
 A・今の天満屋の場所にはもと「はとや」というのがありました。それが業績が悪くてつぶれて、その後天満屋が入ってきたんです。それまでは天満屋というのはまだ小さくて……  
 E・天満屋は今、宮通りにね、お宮があるでしょう。あの北側でね、小さい所をかりて商売券とか見本だけ置いてやりようちゃったですよ。  
 ①・その頃から「お中元は天満屋」という感じだったんですか。  
 E・いや、天満屋なんか知らない人も多かった位じゃないでしょうか。  
 ①・あの当時の繁華街は本通りの辺りですか。A・本通りよりも胡町の辺が一番にぎやかでした。そのころの胡町は福山が一番ハイカラな町でして、福山で最初の自動車屋なんかもここにありました。  
 C・自動車は当時高級品で一般には仲々手が出なかったですな。  
 A・当時は口産品がまだなくてね。全部外車でした。しかも小使用なんこのはまだなかったです。あの三角のところに足をつっこんで「積のり」と言うんですが、どうして乗ってました。ちなみに私のウチは福山で二番目に自動車が入りました。えへん。  
 D・ずいぶん裕福だったんですな(笑)それはいつころの話ですか。  
 A・確か……大正のころか、まだたと思ひます。①・……自動車の話が出たところまで三番目の

交通の問題に入りたいんですが、福山駅の出発の明治24年はどうですか。  
 D・そう株式会社山陽鉄道、後に口鉄になりましたが、次に軌鉄が出来たのが明治の末、そして西備鉄道が大正3年ころです。  
 ①・軌鉄の始発駅はどの辺にあつたんですか。  
 A・あれは高梁になる前の西の第一踏切りの辺りでした。  
 ①・軌鉄というのは山陽鉄道なんかには比べると大分小さかったようですね。  
 F・小さい小さい。もつとも煙突だけは大きくて私らは「ラッキョ」と呼んでいました。  
 D・力が弱いんだ。水呑と田尻の境の「三方坂」の辺ではよう登りきらんでね、乗客に降りて押ししてくれ言うてね、足を押してりましたわ。  
 E・西備鉄道はあれよりはずっと良かったんです。後には電化になりましたし。  
 A・西備鉄道は当時から日本でも有数の収得をあげる鉄道だったんですよ。  
 ①・それが今の「福塩線」ですか。  
 A・いや一寸違つてね。今の奈良津の海防所から煉場の前を通つてたんです。あそこは切り通しがあるでしょう。あれが昔はトンネルだったんです。戦後あのトンネルを崩して道ができました。  
 B・列車が全盛になる以前には兼合馬車というのがありました。府中―福山間とか軌―福山間なんかね。それと人力というのは大分後まで残つてました。  
 F・あれはいつ頃まであったんですか。あ

DE-105D(6X44)

- ① B. 確か昭和の... 10年位まではあつた様子を  
かします。
- ① A. 自働車が登場するのはいつ頃ですかね。
- A. これは多分皆さんご存知ないでしょうが、  
福山で一番にアメリカの車を買ったのが水香  
のUさん、二番目が空閑町にハイカラ堂とい  
う店があつたんですが、その親父です。
- AC. それはいつ頃ですか。
- A. 大正5年位のことです。
- ① A. タワシになんかほもつとずっと遅いんごし  
ょうね。
- A. いや、それ程でもない。大正10年頃には  
文化タワシというものがもうあつた。
- ① A. へーそんな早くから。

\* この座談会は40分のテープに入りきらない  
程之し之んと行なわれ、話はまあまだつきな  
いのであるが、ひとまずこの辺りでしめさせ  
てもういたい。テープ取しをしなから思ふこ  
とは、どなたの話も単なるものしりといつた  
ものではなく、まさしくその時代を生きても  
た人にふさわしく「生活」の匂いを含めて感  
じさせるものであつたといふことである。そ  
れが今回うまく表れていないところは、テー  
プ取しをした私の責任である。興味のあり  
の亦にはテープを貸しますの是非をいれど私  
の至らぬところを補なりたい。会費の体験  
を記録するにうい、た企画は今後も出来れば  
つづけていきたいと思ふ。但し私自身はもう



編集後記

テープ取しなど二度とやりたくはないが...  
発言者 B.C... は特に誰をさすというこ  
も無い。また誰か何を言つたかについて余  
り正確さのみをきくはならなかつた。出席者  
の方々は事後なれど御承諾いただきたい。

眠い。もう二時だよ。灰皿はあふれてるし、ウ  
イスキーもコップ一杯なめてしまつた。毎度の事  
とは吾々、会報を印刷する前の日は夜を徹する事  
となる。

進歩ないねー。学生時代の試験前の一夜漬けが  
今も続いている。計画を立て、余裕を持つてすれば  
今頃もう少しマシな人間になつてゐるのに。でも一  
夜漬けでも大抵何とかなつて来たから始末が悪い。  
何とかならなかつたのは、大学入試と卒業論文、  
就職試験位だ、たし。

さて、今月号は初めての企画として座談会を行  
ないました。テープ取しをしたN氏の苦勞は兼  
して余りあるが、無しも同く方は、お茶を飲みな  
がら話お途切れぬようにするだけなので来た。た  
又N氏にお慶いして、座談会をゆるろ。

福山の建物三十年史(二) 種本実

昭和・月

(40・3) 県立福山商業高校完成

(40・4) 老人福祉センター完

(40・10) 福山城再建に着工  
(瀬戸町・県で初めて)

(41・4) 福山城再建に着工  
(41・11)

元和8年(1622)築城↓昭和20年8月に戦災

総工費1億6700万円(天守閣1億3500万円、月見ごき

2100万円、湯殿1100万円) 市民からの寄附を募る

NK13000万円、徳永市長10万円、上田助役7万円等々

(41・9) 市民会館完成  
鞆1夕度津をリポート間通85分

(41・3) 市制50周年・市民憲章制定  
総工費4億2800万円

(42・3) NHK福山放送局完成

(42・6) 県陸運事務所福山支所開  
(16・3)に尾道に開局し移転

福山ナンバ1が登録

(43・11) 奈良津火葬場完

(43・6) 市立体育館完  
総工費2300万円

(44・4) 元の市民球場跡・工費3億5000万円

(44・5) 市立福山高校完

(44・6) 県立誠之館高校移転完

(44・10) 森林公園「憩の森」完

(44・11) 明治100年記念事業

(46・6) 婦人福祉センター完

(46・10) 広島県福山合同庁舎完

(47・10) 社会福祉会館完

(47・11) 中央公民館完  
工費1億5500万円

(47・5) 備後ハイッ完  
工費1億6600万円

(48・10) 福山市民図書館移転改築  
工費2億1000万円(国より2500万円)

・戦前東町に義倉図書館(明治43年  
義倉財団による)があった。蔵書6  
万冊は私立図書館としては全国的  
にもまれなかったが戦災で焼失した

昭和22年旧三菱のボイラー室の焼跡を改装して市民館ができた。中に図書館も含まれた。昭和35年に独立して図書館ができた。

(現在の福山市青少年センター)

(48・6) 老人大学開校

山陽本線の高架工事始まる

(49・4) 市立高校地吹町から赤坂町へ

城跡公園内に埋蔵文化財収蔵庫、鏡槽文書館の開館式

名誉市民平櫛田中作「岡倉天心先生像」除幕式

福山グリーンライン開通

市立女子短大開校

増川女子短大を市移管

(49・5) 福山市解放会館完

青少年センター完

(旧図書館の跡)

(49・7) 松永支所新築移転

係より

前回から福山の建物三十年史と題し、市内の主な公共の建物の史をたどってみました。昭和30年から49年までかけ足でたどって見ましたが今年まで終ります。



お詫

城郭研究部会から一頁分の原稿を戴いたのに、場所が無くなりのせもありませんでした。次号に必ずのせますので御勘弁を。

行事報告

四月に神谷和孝氏により「鳳凰堂について」の講演。五月五日に第三回「親と子の古懐めぐり」を行なう。前者は二十人、後者は七十人の参加者があり、後者は談笑・中国に記事が出る。

奈良は良いと二度はおいで  
旅行下見の記

吉田和隆

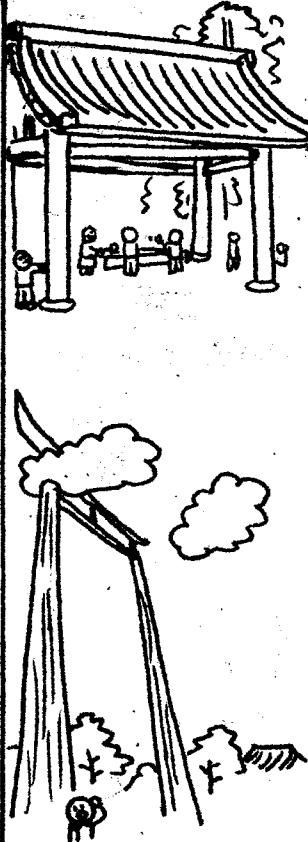
今年の旅行は奈良に行きます。  
日には九月の22と23・四度目に  
なる今年は、「中央権力の残した巨  
大古墳を見よう」との事で当初企  
画しました。しかしこれじゃ一般  
にウケないとの事で、「巨大古墳と  
古寺の旅」に落ち着き、この前会長  
と下見に行きました。宣伝も兼ね  
て、秋のさわりを少し書き列ねて  
みます。

一日目 神武さんと古墳の旅

新幹線、近鉄特急と乗り継いで、  
ただ、広い奈良盆地の南の端、  
原駅に昼に着きます。ここはなん  
と、あの神武天皇が即位された  
言う、柿れ多い場所なのです。右  
翼の乃々もさぞかし、と思っ

に、アベックばかりでした。  
小さな町なのですが、神武天皇を  
祭る橿原神宮と、橿原考古学博物館  
を始め、沢山の文化施設のある、落  
ち着いた所です。ここで昼食と、夜  
の宿をとります。神罰を怖れてか、  
男性諸氏の喜びそうな店は一軒も無  
いように、清い一夜が過ごせそうで

橿原神宮は、巨人(ジャイアンツではない)  
の国に迷い込んだかと思わせる、巨  
大な神社なのです。見上げるばかり  
の大鳥居、村の社の本殿より大きな  
水盤社、東大寺と、いい勝負の建物群





などなど。お香銭とお札の売り上げでやっへ行けるのだらうかと、素朴な疑問が少々。

昼食の後、考古学研究所の今尾さんの案内でまず博物館を見学、続いてマイクワで周辺の古墳を見に行きます。石舞台、箸墓、天武陵等、名高い古墳を目に納めて下さい。

今尾さんは今、中世の豪族の屋敷跡を発掘中で、お会いした時は長髪に不精整、長靴に腰のタオル、おまけに泥だらけと、その昔東京は新宿駅にたむろしてたフーテン族の一族では、と思わせるお姿。しかし発掘現場を案内してくれ、お茶も御馳走、その上駅まで送ってくれるという、大変親切な人なのです。おみじ饅頭にして良か、たと思いました。今尾氏は奈良の考古



今尾氏

学のフロです。学ので、なかく聞けない話もしてくれらると思ひます。

二日目

二日目は、と趣きを変えて、古寺巡りであります。東大寺、法隆寺とい、た修学旅行コースではなく、奈良盆地の南端から山に入、た、長谷寺と室生寺に行きます。

室生寺は深い山中、杉の木立に覆われた中に堂宇が点在しています。特に五重塔は、人が入れるのかと怪しまれる程の小ささで、濃緑の杉の巨木達の中に朱塗りの姿を見せています。高野山は女人禁制ですが、こは女性の入山を許したので多くの女性が参拝、為に女人高野の異名を持つ寺でもあります。

長谷寺は遙かに里に下、て、広々とした山の斜面に建物も建と並ぶ、明るい寺です。山門より入れれば、遙か彼岸の本堂まで、石段に屋根と壁の付いた立派な回廊が続いています。

どちらの寺も賑やかな門前町であ  
って、餅を焼く匂い、食堂の呼び  
込みの声、行き交う参拝客で大層  
繁盛しています。

二時頃汽車に乗り、八時位に福  
山着。大体以上の予定で会費は二  
万八、九千円位になる模様。近く案  
内を送りますので、御参加下さい。



新聞ダイジェスト

三、四月の巻

本コーナーは、新聞に載る新し  
い歴史の構報が、往々にして見る  
端から忘れて行くという事態を憂  
えて作成するものである。本欄で  
興味を持ったなら、図書館に行く

べし。保管されてる新聞で、抜き書  
きするも良し、コピーするも良し、  
諸君！大いに利用されよ！  
手間と時間食う割にはみんぞ飛ば  
して読んでみるみたいな、と懷疑して  
作成者記す。

三月(朝)は朝日(中)は中国新聞の時

3/2(朝) 明石原人ゆかりの地きようか  
ら発掘・化石・旧石器の発見期待。

3/7(朝) 鳥浜遺跡境される。福井県が  
護岸工事。保護シートを誤認。

3/9(中) 大宮集跡を発見。奈良の平城  
宮跡・聖武天皇の遺構か。

3/8(朝) 中国最古の都城跡。河南省で  
発見。商初代、湯王の都か。

3/8(朝) 難波宮跡の区域拡大。大阪市  
3/19(朝) 古墳前期の竹ざる出土。鳥取

3/17(朝) 県倉吉市、上神の猫山遺跡。

時代後期の青山文化古城の北門遺跡発掘



④長城学の誕生。国挙げて保護  
 研究の機運高まる。民衆との関  
 係も追来。(日中の識者対談)  
 ⑤朝奈良時代、東国人も漢字を使  
 う。東京国立市・刻字の紡錘車  
 を出土。  
 ⑥尼僧の顔が見える。観音堂意  
 の絵。福山市東深津町。  
 ⑦石垣の一部を発見。福山城の  
 遺構調査始まる。美術館予定地。  
 ⑧きょうオーブン。尾道中世  
 遺跡展。市立美術館。  
 ⑨歴史の口マニに酔う。沼隈で  
 平通益公800年祭。

〇予定・お知らせ  
 古墳研究会では、現在吉備の  
 古墳に「ついで」勉強会を  
 す。前回の5月8日(土)は、網本氏に  
 ます「前回の5月8日(土)は、網本氏に  
 いう「ついで」勉強会を  
 日には「ついで」勉強会を  
 と「ついで」勉強会を  
 り「ついで」勉強会を  
 ん「ついで」勉強会を  
 尚「ついで」勉強会を  
 史料が「ついで」勉強会を  
 望の方「ついで」勉強会を  
 聖品「ついで」勉強会を  
 大「ついで」勉強会を

古墳部会の勉強会

古墳部会の勉強会は毎月第二水曜  
日午後七時から福山青年の家で  
開催されていゝる。

基礎的なところからもう一度勉強  
強してみたいと思ひ、参加させて  
戴き始めたが、時々講師の役目  
を引き受ける羽目になつてしま  
た。しかし、自分が講師を行つた  
時は十分な下調べもせずやつし  
まうため、参加された方々に御不  
満を残すことになり、いゝも終  
大時申訳はな思つていゝる。

五月八日は網本氏の講師で、特  
殊器台と弥生墳丘墓について学習  
した。

これまでの研究成果を丁寧にま  
とめられ、専門的なことも平易に  
説明され、理解し易く、時間をオ  
ーバールしたこともわからなかつた

ほどであつた。

ただ、私自身はいろいろ勉強がで  
ない、喜んでいゝるのだが、参加者の少  
なかつた点も非常に悔まれた。もつ  
と多くの会員が居られたら、共通の  
話題を持つことができたであらう。

部会の勉強会は開くためにやるの  
ではなく、知的な遊びができて、情報  
交換の得られる場であらう。来月か  
らもう第二水曜日を楽しみたとい  
思ふ。また、今度講師の順番がきた  
熱弁がふるふるように頑張りたい

青年の家和室に集う、  
勉強の研究集団  
古墳部会



古墳研究部会情報

千原遺跡から

藤原秀香

府中市に於いて発掘調査を遂  
 のてりる千原遺跡では現在ま  
 てに箱式石棺三基と土壙墓六基  
 及びび連棺墓一基が検出され  
 した。  
 時期と示不出土遺物はほとん  
 どありませんが、古墳時代前期か  
 時代末頃から古墳時代前期にか  
 いたの墓と考之られ、これま  
 当地方ではあまり明確でない  
 た時期の遺構ばかりで、箱式  
 石棺は断面図製作の段階で、

始めています。断面図製作の道  
 程では、石棺とこのようにして  
 築造したのを知ることもござい  
 下まな成果をあげています。  
 持に、このま千原古墳として  
 報告されたことのある石棺は、  
 箱式石棺の床に板石を敷き、石  
 棺周囲の掘方内に玉砂利を詰め  
 た。非常に珍しい造りですが、  
 石棺の築き方、玉砂利の使い方  
 など多くの知見を得ることがで  
 きました。  
 この遺跡は土取りによつて破  
 壊を受け、ため実施して、この  
 ので、調査が終了と消滅して、  
 まいます。ま自身で居られたい  
 方は、ぜひ身に来て観たいとい  
 思います。

九月会報の原稿募集要項。

九月の会報では、伝説、伝承、昔話というテーマです。予定です。ので、知られざる話題を書いて戴く事を期待してお待ちします。原稿内容としては、なるべく書物化されていなり伝説等をお書き戴いた後に、自分なりの考え、又は、時代背景、地図等をお書き下さい。

伝説、伝承ですから歴史的事実から外れた珍話、迷信等、又、備後地方と地域は限定していませんので、備後外の昔話等もかまいません。

なお二月例会蔵王山見学の時にお願いしました方は、原稿用紙を送りますので清書して送り返して下さい。期限は八月二十日までとします。のでよろしくお願い致します。

忠海町の史跡めぐりへの御案内

末森清司

特別例海として、六月十六日(日)に忠海町の史跡めぐりを計画いたしました。忠海町は三原と竹原の中間にあり、国民休暇村で知られる、大久野島への港口となりました。北は黒瀬山を中心とした瀬山で、南は瀬戸内海に面した美しい所です。

見学する所は、国の天然記念物に指定されているモッコクの群生する忠海八幡宮、同じく県の天然記念物に指定されているウバメガシのある宮神社。瀬戸内海の水軍の総師で、小早川隆景公の勇将、浦宗勝公の居城であり、た賀儀城跡・宗勝公建立と伝えられる勝蓮寺。

そして江戸時



代に栄えた忠海の古い商家の家並、国立公園でもある山26メートルです。ここから見る芸予諸島のすばらしい内海の展望は、見物です。又この山登山道にはミニ西国三十三ヶ所寺めぐりの石仏があります。会員の皆様の参加をお待ちしております。案内役は末森か担当いたします。

◎6月例会「忠海の史跡を訪ねて」

日時 六月十六日(日)  
 集合 午前六時五十分福山駅前、釣人の像前（8:45発系時行き電車）  
 午後五時五十九分福山着の予定。  
 費用 会費 500円、非会費 600円。  
（他に電車賃往復1480円が必要です。）  
 講師 末森清司氏

◎6月歴史講演会

日時 六月九日(日) 午後二時～四時  
 場所 福山市市民会館第一会議室  
 講師 下津門康夫氏（華戸千軒遺跡発掘調査研究員）  
 演題 「九十世紀の海賊について」  
 会費 会費 200円、非会費 300円

◎7月例会

日時 7月14日(日)  
 目的地 松永方面  
 講師 種本実、齋田英夫両氏。  
 詳細は未定。

◎旅行

日時 9月23日、24日(日)  
 場所 奈良、木原、堂生寺、長谷寺  
 会費 二万八千～九千円位。  
 詳細は別紙送付。

◎十月例会

日時 十月中・下旬  
 場所 熊野・沼隈(淨国寺・横倉町武史記念館)  
 講師 神原正昭、神谷和孝、中西晃、森弘子  
 四氏。準備中につき詳細未定。